

2023年度資産評価政策学会賞（論文賞、論説賞、著作賞）推薦のお願い

資産評価政策学会では、2023年度総会において、2023年度資産評価政策学会賞の表彰を行います。学会賞選考にあたり、学会賞推薦候補（自薦を含む）を下記のとおり受け付けますので、推薦書用紙及び表彰規程を必要とされる方は、郵送またはe-mailにて事務局宛ご連絡下さい（推薦用紙は学会ホームページからもダウンロードできます。<http://www.japap.org/>）。今年度より、推薦の対象を広げるために、応募できる条件を緩和しています。

推薦して頂いた論文、論説、著作については、複数の査読者からの査読結果を踏まえて資産評価政策学会学会賞委員会で、資産評価政策学会賞の選定を行います。選定論文、論説、著作については、2023年度資産評価政策学会総会で表彰させて頂きます。

資産評価政策学会会長 岩崎政明
学術委員会委員長 浅見泰司

◆学会賞の種類：論文賞、論説賞、著作賞

◆推薦対象：

〔論文賞〕

2020年1月1日～2022年12月31日の期間に資産評価政策学会誌上又は本学会講演会もしくは関連する他学会において発表された論文で、資産評価政策学の発展に著しい貢献をなしたものと認められるもの^{注1)}。なお、他学会における発表による貢献で授与された場合には、その内容紹介する記事を本学会誌1ページ程度で執筆するものとする。

注1) 資産評価政策学会誌上では、研究論文として掲載されているもの

〔論説賞〕

2020年1月1日～2022年12月31日の期間に資産評価政策学会誌上において発表された論説^{注2)}もしくは他の媒体で、資産評価政策学の発展に著しい貢献をなしたものと認められるもの。なお、本学会誌以外における発表による貢献で授与された場合には、その内容紹介する記事を本学会誌1ページ程度で執筆するものとする。

注2) 資産評価政策学会誌上では、発表論文、特集、論説として掲載されている査読論文以外の論文を含む。

〔著作賞〕

2020年1月1日～2022年12月31日の期間に刊行された著書で、資産評価政策学の発展に著しい貢献をなしたと認められるもの。なお、共同著作の場合には、著者のうち少なくとも一人が会員であれば良いが、受賞者は学員に限る。

*ただし、審査開始時点で非会員であっても、審査の後、受賞が確定した時点で入会することをすべての執筆者が約する場合は、審査対象とする。

◆受賞資格者： 本学会正会員（含、大学院生）（含、入会申込中）とする。

◆推薦者： 本学会会員（含、入会申込中）であること。ただし、各賞ごとに会員1人につき1件以内とする。

◆提出するもの： 推薦書、推薦する対象の論文・論説を3部（コピーも可）、候補者の略歴、著書は2冊。

◆推薦締切日： 2023年4月14日 必着

◆推薦用紙の申込先ならびに問合せ先：

資産評価政策学会

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング7階 日本不動産学会 気付

E-mail: japap00@gmail.com

・推薦書および略歴はe-mailによる提出も可（推薦用紙の電子データ）が必要な場合は申し出ること）。

2023年度資産評価政策学会論文賞・論説賞・著作賞候補推薦書

推薦者	氏名(フリガナ)				
	所属・役職				
	住所	〒		自宅 勤務先	
	電話番号	- -		提出日 月 日	
	E-mail			著作 同送 別送	
論文・論説・ 著書名					
掲載学会誌	資産評価政策学 号(年 月発刊)				
受賞候補者(単著の場合、①にご記入下さい)					
① 氏名(フリガナ) 所属・役職 住所 電話番号					
	〒			自宅 勤務先	
	- -				会員 非会員
(受賞候補者が複数の場合、 ②以降に もご記入下さい。 スペース が足りない場合、 適宜コピ ーしてご 記入下さい。)	② 氏名(フリガナ) 所属・役職 住所 電話番号				
		〒			自宅 勤務先
		- -			
	③ 氏名(フリガナ) 所属・役職 住所 電話番号				
		〒			自宅 勤務先
		- -			
④ 氏名(フリガナ) 所属・役職 住所 電話番号					
	〒			自宅 勤務先	
	- -				会員 非会員

推薦理由